【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成27年11月19日(2015.11.19)

【公表番号】特表2013-514218(P2013-514218A)
【公表日】平成25年4月25日(2013.4.25)
【年通号数】公開・登録公報2013-020
【出願番号】特願2012-543601(P2012-543601)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｃ　9/08　(2006.01)
Ｂ６０Ｃ　15/00　(2006.01)
Ｂ６０Ｃ　15/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｃ　9/08　Ｄ
Ｂ６０Ｃ　15/00　Ｋ
Ｂ６０Ｃ　15/00　Ｇ
Ｂ６０Ｃ　15/06　Ｂ

【誤訳訂正書】
【提出日】平成27年9月29日(2015.9.29)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００２５
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００２５】
充填要素の理論的な半径方向外側の端は、充填要素の半径方向最も外側の箇所であり、この充填要素の半径方向外側では、カーカス補強材層及び／又はカーカス補強材折り返し部分が互いに合体すると共に２つずつ隣り合っている。本発明の意味の範囲内において、充填要素の半径方向外側の端は、理論的な半径方向外側の端の付近において、ビード外側フェース上への正投影像がビード外側フェースとカーカス補強材外側層との間の最大距離を形成する箇所を意味している。「～の付近」という表現は、半径方向外側の端と理論的な半径方向外側の端との間の距離が多くても１０ｍｍに等しいことを意味している。換言すると、製造公差を考慮に入れると、ビード外側フェースとカーカス補強材外側層との間の最大距離は、０～１０ｍｍの上述の理論的な半径方向外側の端からの距離のところで、且つ、充填要素の半径方向外側の端と呼ばれていると共に理論的な半径方向外側の端の半径方向内側に位置した、充填要素上の箇所で得られる。